

中川村誌 中巻 目次

原始・古代編

第一章 中川村の考古学研究の歩み

第一節 戦前までの研究の歩み……………3

第二節 戦後の研究の歩み……………5

一 遺物採集と初期の発掘調査……………5

二 昭和五〇年代以降の大規模発掘調査……………6

三 文化財の保護と調査成果の公開……………7

第二章 旧石器時代

第一節 旧石器時代の自然と文化……………9

一 人類の誕生と旧石器時代……………9

二 日本の旧石器時代……………9

三 旧石器文化の変遷と石器……………10

第二節 中川村の旧石器文化……………13

第三章 縄文時代

第一節 縄文時代の年代と時期区分……………15

一 縄文時代の年代……………15

二 縄文時代の時期区分……………16

第二節 環境の変化と縄文文化……………18

一 気候の温暖化と縄文文化の成立……………18

二 縄文文化の変遷……………18

第三節 縄文人のくらし……………21

一 縄文人の食生活……………21

二 食料の獲得と道具……………22

第四節 くらしと土器……………26

一 土器の発明……………26

二 土器の移り変わり……………26

第五節 縄文人の住まいとムラ……………31

一 中川村における縄文人の住まい……………31

二 中川村における縄文人のムラ……………34

第六節 縄文人の祈りと祭り……………37

一 生と死の祭り……………37

二 繁栄を祈る祭り……………40

第四章 弥生時代

第一節 弥生時代のあらまし……………43

第二節 弥生時代の信濃……………46

一 弥生文化を受容する信濃（波及期 前期）……………46

二 弥生文化の定着と地域色（中期）……………46

三 弥生文化の発展（後期）……………47

第三節 弥生時代の中川

- 一 主な遺跡と遺物……………49
- (一) 黎明期の遺跡……………(二) 前期から中期の遺跡
- (三) 後期の遺跡……………
- 二 中川村の弥生時代の変遷……………59

第五章 古墳時代

第一節 古墳が造られた時代

- 一 古墳時代のあらまし……………61
- (一) 古墳の出現と大和政権の誕生……………
- (二) 朝鮮半島・中国との交流……………(三) 人々の生活
- (四) 法による支配の時代へ……………
- (五) 古墳時代の時期区分……………
- 二 長野県下の古墳……………65
- (一) 前期の様相……………(二) 中期の様相
- (三) 後期の様相……………(四) 伊那谷の古墳文化
- 二 中川村の古墳……………69
- 一 調査された中川村の古墳……………70
- (一) 堅錐1号古墳……………(二) 天伯古墳
- (三) 六万部東塚古墳……………(四) 塚本古墳
- 三 古墳の可能性のある遺跡……………79
- (一) 堅錐1号古墳に隣接する古墳群……………
- (二) 大草下平の馬具……………(三) 大草北林の瑪瑙製勾玉
- (四) 大鹿稻荷社の塚……………

四 古墳時代の社会と生活

- (一) 民衆の暮らし……………(二) 古墳時代人の食卓……………80

第六章 奈良・平安時代

第一節 律令支配の時代

- 一 律令支配の始まり……………83
- 二 科野国伊奈評の成立……………83
- 三 信濃国 諏方国と伊那郡……………84
- 四 伊那(伊奈)郡と郡司……………85
- 五 信濃国伊那郡の諸郷……………85
- 六 律令農民の負担……………86
- 第二節 奈良 平安時代の村落生活……………88
- 一 中川村における奈良・平安時代の集落……………88
- (一) 中村遺跡……………(二) 西ヶ原遺跡
- (三) 箕輪田遺跡……………
- 二 奈良 平安時代のムラの生活……………90
- (一) 発掘調査の結果から復元される集落の様子……………
- (二) 遺物から考えられる村の生活……………

第三節 東山道と堅錐駅

- 一 古代東山道……………95
- (一) 五畿七道……………(二) 官道の役割と組織
- (三) 駅路と駅家……………(四) 東山道
- 二 堅錐駅……………97
- (一) 堅錐駅比定地の諸説……………(二) 堅錐駅の所在
- 三 中川村の東山道……………99

第四節

古代社会の変質と中世への胎動

103

一 律令社会の変貌

103

二 武士団の起こり

104

(一) 村内のルート の推定

(二) 上段 西山山麓ルート

第七章 遺跡と遺物

第一節 大草地区

一 飯沼1遺跡

107

二 飯沼2遺跡

107

三 芦ノ田畑遺跡

109

四 一本木遺跡

109

五 前田遺跡

109

六 美里1遺跡

109

七 美里2遺跡

109

八 谷田遺跡

110

(一) 谷田遺跡の調査 (二) 遺構と遺物

(三) そのほかの土器と石器 (四) 縄文時代の谷田

九 下垣外畑遺跡

112

一〇 荻平遺跡

112

一一 箕輪田遺跡

113

(一) 縄文時代の住居址

(二) 縄文時代のそのほかの遺構と遺物

(三) 平安時代の住居址

(四) 原始 古代の箕輪田の姿

一二 外県神社遺跡

116

一三 下り松遺跡

116

一四 下平遺跡

116

一五 下の坊遺跡

117

一六 榎田遺跡

117

一七 下ノ林遺跡

117

一八 下垣外平畑遺跡

118

一九 外垣外遺跡

118

二〇 堂ヶ原遺跡

118

二一 中組遺跡

119

二二 四十垣外遺跡

119

二三 北原遺跡

119

二四 太子原遺跡

120

二五 沖田遺跡

121

二六 大草城遺跡

121

二七 町遺跡

121

二八 坊遺跡

121

二九 下ヶ原遺跡

122

三〇 仲林遺跡

122

三一 中林の平遺跡

122

三二 北林遺跡

122

三三 鹿養遺跡

123

三四 陣馬形山頂遺跡

123

第二節 葛島地区

一 小町原遺跡

124

二 池の平遺跡

124

三	天伯遺跡	125	七	小久保遺跡	139
四	葛島城遺跡	125	八	坊林遺跡	140
五	古垣外遺跡	125	九	中溝遺跡	140
六	中ノ垣外遺跡	125	一〇	溝林遺跡	140
七	高垣外遺跡	125	一一	寺山遺跡	141
八	張原遺跡	126	一二	大井沢西遺跡	141
九	南原遺跡	126	一三	勘助稻荷神社遺跡	142
一〇	柏原遺跡	126	一四	宮ノ脇遺跡	142
一一	八ツ手遺跡	126	一五	てんぱく山遺跡	142
一二	姫宮遺跡	127	一六	針ヶ平遺跡	143
一三	中の平遺跡	127	一七	豊信合成入口遺跡	143
一四	渡場遺跡	128	一八	蓮台遺跡	143
一五	下島遺跡	128	一九	大昌寺北遺跡	143
一六	百田遺跡	128	二〇	上の原遺跡	143
一七	山郷遺跡	128	二一	高つなぎ遺跡	145
一八	大平遺跡	128	二二	小和田遺跡	146
一九	葛島地区採集の遺跡	128	二三	小和田垣外遺跡	146
第三節 片桐地区		129	二四	下輪遺跡	146
一	苅谷原遺跡	129	二五	松ノ越遺跡	146
(一) 位置 (二) 昭和時代の発掘調査			二六	堀ノ内遺跡	147
(三) 平成時代の確認調査			二七	五十目遺跡	147
二	梨ノ木遺跡	135	二八	六万部東塚古墳	147
三	横山遺跡	136	二九	六万部西塚(小塚)古墳	148
四	原田遺跡	136	三〇	天伯古墳	148
五	源八遺跡	138	三一	中村遺跡	148
六	茶堂遺跡	138			

	三二	堤ヶ原遺跡……………	150
	三三	西ヶ原遺跡……………	150
	三四	大林遺跡……………	151
	三五	桐山遺跡……………	151
	三六	前沢平遺跡……………	151
	三七	田島遺跡……………	152
	三八	清音寺前遺跡……………	152
	三九	塚本古墳……………	152
	四〇	南田島遺跡……………	152
	四一	上新田遺跡……………	153
中世編			
第一章 国のおねりの中へ（概説）			
第一節 鎌倉時代……………			
	一	武士の起こりと戦い……………	159
	(一)	南信濃源氏の起こり……………	159
	(二)	保元 平治の乱と片切氏……………	
	(三)	片切小八郎景重と片切郷……………	
	(四)	鎌倉幕府の成立と片切郷……………	
	(五)	承久の乱と片切郷……………	
第二節 南北朝時代……………			
	一	鎌倉幕府滅亡から南北朝対立へ……………	164
	(一)	鎌倉幕府の滅亡と建武の新政……………	164
第三節 室町時代……………			
	(一)	中先代の乱……………	166
	(二)	南北朝対立と大徳王寺城の戦い……………	166
	二	宗良親王と諸族……………	166
	(一)	宗良親王……………	166
	(二)	香坂高宗……………	166
	(三)	伊那の諸族の動き……………	166
第四節 戦国時代……………			
	一	武田氏の侵入と伊那支配……………	176
	(一)	武田氏の諏訪への侵攻……………	176
	(二)	武田氏の伊那侵攻……………	176
	(三)	武田氏と片切郷……………	176
	(四)	武田氏の伊那支配……………	176
	二	織田氏の伊那北上……………	174
	(一)	信玄の死……………	174
	(二)	長篠の合戦……………	174
	(三)	織田氏の伊那侵攻……………	174
	三	天下統一と新しいムラ……………	173
	(一)	信長の死……………	173
	(二)	徳川氏の伊那侵攻……………	173
	(三)	豊臣氏の伊那支配……………	173
第五節 中世の城館跡……………			
	一	城館跡の概観……………	186

	二 竜東地域の城館跡……………	187
	(一) 大草城 (二) あら城 (三) 御北	
	(四) 陣馬形山城 (五) 殿小屋 (六) 葛島城	
	三 竜西地域の城館跡……………	194
	(一) 船山城 (二) 古城	
	第二章 中世の村	
	第一節 大草郷……………	197
	一 村の成立……………	197
	二 大草郷の村……………	199
	(一) 大草城と城下 (二) 飯沼 (三) 宮地	
	三 大草郷の諸族……………	202
	(一) 香坂氏 大草氏 (二) 香坂氏に属した武士	
	第二節 片切郷……………	206
	一 村の成立……………	206
	二 片切郷の村……………	206
	(一) 中村 (二) 田島 (三) 小和田	
	三 片切郷の諸族……………	211
	(一) 片切氏 (二) 前澤氏 (三) 松村氏	
	(四) 荒井 新井氏 (五) 片切氏に属した武士	
	第一節 人々の暮らし……………	217
	一 住まい……………	217
	二 暮らしの道具……………	218
	(一) 食生活にかかわる出土品	
	(二) 道具の材質と産地	
	第二節 村の開発と経済……………	221
	一 村の開発……………	221
	二 市と経済……………	222
	(一) 中世の市場 (二) 六日市場	
	(三) 大草城下の市場 (四) 市場で扱われた商品	
	(五) 銭貨の流通	
	第三節 人々の暮らしと信仰……………	226
	一 片切氏と實際寺 瑞応寺……………	226
	(一) 實際寺 (二) 瑞応寺	
	二 今につながる寺院と神社……………	231
	(一) 寺院の由緒 言い伝え	
	(二) 神社の由緒 言い伝え	
	三 神社信仰……………	233
	四 武士の墓、庶民の墓……………	234
	近世編 (江戸時代)	
	第一章 村の支配……………	239
	第一節 初期の支配のしくみ……………	239
	一 新たな支配へ……………	239
	二 竜西地域の村……………	240

三 竜東地域の村……………	241
(一) 家康領としての始まり……………	
(二) 二人の旗本による支配……………	
(三) 旗本近藤氏の支配……………	
(四) 旗本井上氏の支配……………	
第二節 村の支配の変遷……………	247
一 竜西地域……………	247
二 竜東地域……………	247
三 竜西と竜東の支配の連携……………	248
第二章 土地と農民……………	
第二節 土地を調べる(検地)……………	249
一 村内の測量と村高……………	249
二 脇坂氏の検地……………	250
三 幕府による検地……………	251
四 近藤氏の検地……………	252
第二節 農民の負担(貢租)……………	253
一 いろいろな負担……………	253
(一) 生産物地代としての年貢……………	
(二) 労働力地代としての諸役……………	
二 作柄の検分……………	254
三 年貢の取り立てと上納……………	255
四 年貢減免……………	256

第三章 村と村のまとめり

第一節 村明細帳から江戸時代の村の様子を知る……………	257
-----------------------------	-----

一 近世の村……………	257
-------------	-----

二 享保五年の御料大草村明細帳……………	258
----------------------	-----

三 宝暦四年の田島村明細帳……………	260
--------------------	-----

第二節 村のしくみと村の自治……………	263
---------------------	-----

一 村の住民……………	263
-------------	-----

二 村方三役の成立……………	263
----------------	-----

(一) 肝煎の支配……………	
(二) 肝煎から庄屋 名主へ……………	

(三) 組頭 百姓代の登場……………	
(四) 村方三役の選出……………	

三 五人組……………	269
------------	-----

(一) 五人組の設置……………	
(二) 五人組の編成……………	

(三) 五人組帳……………	
(四) 五人組内部の争い……………	

四 村役人の仕事……………	273
---------------	-----

五 村の財政……………	277
-------------	-----

六 村の自治……………	280
-------------	-----

第三節 寺と村人……………	283
---------------	-----

一 寺請制度……………	283
-------------	-----

二 寺と村人……………	288
-------------	-----

第四章 貨幣経済の広がり

第一節 稲作 畑作……………	289
----------------	-----

一 相模垣外「万用日記帳」にみる農家の一年……………	289
----------------------------	-----

二 稲作……………	292
-----------	-----

	三	新田開発と用水について……………	295
	四	畑作……………	300
		第二節 商品作物と山村の産物……………	301
	一	商品作物……………	301
	二	山村の産物……………	304
		第三節 諸稼ぎ 金融……………	307
	一	諸稼ぎ……………	307
	(一)	稼ぎ人の増加 (二) 酒造 (三) 水車	
	(四)	生糸 (五) 村の職人たち (六) 狩猟	
	(七)	漁撈 (八) 奉公 (九) 出稼ぎ	
	二	金融……………	317
	(一)	江戸時代の貨幣制度と貨幣の改鑄	
	(二)	無尽 (三) 田畑の質入れ 売買	
	(四)	村の消費生活と貨幣経済の浸透	
		第五章 道と天竜川……………	
		第一節 竜東の道と伊那街道……………	323
	一	竜東の諸道……………	323
	二	伊那街道……………	326
		第二節 伊那街道の中馬……………	329
	一	中馬の起源と通った道……………	329
	二	宿駅問屋と中馬の対立……………	330
	三	明和期までの紛争……………	330
	四	明和の裁許……………	331
	五	村内の中馬稼ぎの実数……………	334
		第六節 中馬が運んだ品物……………	335
	七	明和の裁許後の中馬と宿駅……………	336
	八	中馬と通船……………	337
	九	三州馬との争い……………	337
	一〇	中馬村と大草村の争い……………	338
	一一	中馬稼ぎの実際……………	340
	一二	中馬稼ぎ人同士の争い……………	341
	一三	中馬稼ぎ人の集団行動……………	342
	一四	生糸輸出と中馬……………	343
		第三節 中山道への人馬の負担……………	344
	一	伝馬と助郷……………	344
	二	伊那郡の木曾助郷の始まり……………	345
	三	明和二年の日光法会の木曾路大通行と助郷……………	346
	四	楽宮の東下と助郷……………	347
	五	木曾上四宿への代助郷……………	348
	六	寿明姫の木曾路通行と増助郷をめぐる争い……………	353
		第四節 天竜川の管流し・通船・渡船……………	355
	一	管流し……………	355
	二	通船……………	357
	三	渡船(渡し船)……………	360
		第六章 開発と災害への取り組み……………	
		第一節 水の確保と原野の開発……………	363
	一	針ヶ平 堤ヶ原をめぐる林場紛争……………	363
	二	四回も差し止められた針ヶ平一帯の開発……………	365

第三節 和歌・俳諧のたしなみ

一 和歌の動向と中川村地域の歌人たち……………439

(一) 和歌の動向と伊那谷の歌人

(二) 仁科惣蔵ら中川村地域の歌人たち……………440

二 俳諧の動向と中川村地域の俳人たち……………440

(一) 江戸中期までの俳諧と中川村周辺の俳人

(二) 江戸後期の俳諧と中川村地域の俳人たち……………443

第四節 神社・寺院と民間信仰

一 神社と民衆……………443

二 寺院と檀家制……………444

三 民間信仰と講……………445

第九章 近代への歩み

第一節 開国の影響……………449

一 東アジア情勢の変化と日本の開国……………449

二 国防の強化と村への影響……………450

三 貿易の開始と村の動き……………452

四 物価の騰貴と社会の動揺……………454

第二節 世直しへの期待……………457

一 幕政の推移……………457

二 公武合体と和宮の降嫁……………457

三 文久の幕政改革と地方への波及……………458

四 第一次長州征伐と天狗党の乱……………460

五 江戸幕府の滅亡と偽官軍事件……………462

六 社会の変化……………464

協力者および写真提供者一覧……………469

引用・参考文献……………469

執筆分担……………471

編集刊行委員会関係者……………472

編集会議関係者……………472

あとがき……………473